



和と白干潟観察会のようす

夏休み!

## 夏の和と白干潟の自然さがし

和と白干潟には全国の干潟では2ヵ所だけといわれる貴重な自然海岸が残っています。砂浜、アシ原、クロマツ林や雑木林、淡水湿地など、干潟本来の自然の景観が残っています。この和と白干潟の後背地や、干潟や岩場などの自然のすばらしさをさがして歩く、という企画を立てました。第1回目として4月に和と白干潟や周辺を歩きました。2回目は7月に実施します。季節が春から夏に移り、和と白干潟の自然はどのように変わったのでしょうか? 和と白干潟を守る会会員といっしょに市民の皆さんも歩きませんか? この企画は年4回、四季に1回ずついたします。私たちといっしょに和と白干潟の宝物をさがしてみませんか?

とき: 7月28日(火) 受付9:50 開始10:00~12:00

中潮 満潮6:44 干潮13:41

集合: 和と白干潟 海の広場(福岡市東区和白4丁目海岸)



参加費: 無料 雨天中止、小雨決行  
持ち物: ルーペ、筆記具、飲み物、(あれば) 双眼鏡  
服装: (暑い季節ですが、安全面から)  
長そで、長ズボン、帽子、長靴

主催: 和と白干潟を守る会

問い合わせ: TEL/FAX: 092-944-1543(山之内)

E-mail: [yamanouchi-y@mub.biglobe.ne.jp](mailto:yamanouchi-y@mub.biglobe.ne.jp)



アシハラガニ

# 第1回 春の和白干潟の自然さがし 報告 (高田 将文)



4月28日(火) 10:00~12:20 うす曇りの空の下、初めて企画した「春の和白干潟の自然さがし」を実施しました。守る会10人と3人の一般参加がありました。ちょうど声の届く範囲ですので、みんなでまとまって行動しました。

10時に開会、山本代表の挨拶と講師紹介、スケジュール案内がありました。この「和白干潟の自然さがし」は、干潟の鳥、植物(特に塩生植物)、干潟の生き物について、まずは春の自然の様子を知り、移りゆく季節ごとにそれらがどう変化していくのか、どのような出会いがあるのかを多くの人に伝えていくために守る会のガイドが学ぶこと、和白干潟の自然を知りたいと参加して下さった方々に体感していただくことを目的として企画したものです。

残念ながら鳥たちは少なく、開始前にミヤコドリ3羽、チュウシャクシギ10羽はいましたが、自然さがしの時には飛び立っていませんでした。ウグイスがさえずりハリエンジュの白い花が咲き香りを振りまいている下で、広場からスタートし「自然さがし」を行いました。

参加して下さった皆さんからの感想では「色々な植物、生物の名前を知ることができて良かった。干潟を守ってほしいと思った」「干潟の近くに40年も住んでいるが、昔はカブトガニやカメもいた。ミサゴが近くで見られるのが楽しみ」「宗像に住んでいるが、今日はぜいたくな観察ができた。色々な名前を覚えられて良かった」「これから、ポツポツと名前を覚えていこうかな」など、楽しみながら学んでいただけただようでした。(今村)



## クリーン作戦 報告



### 4月25日(土)「干潟・湿地を守る日2015」 「全国春のビーチクリーンアップ2015」参加

「干潟・湿地を守る日宣言」を読み上げて、清掃開始。福岡工業大付属城東高校生146名やキャノンの方々、地元子供会など190名が参加。回収ゴミは86袋、ほとんどが人工ゴミでした。たくさんの参加があって、日頃手をつけられなかった場所のゴミを拾うことができ、見違えるほどきれいになりました。日本湿地ネットワーク事務局長も千葉から参加されました。(田辺)



### 4月25日&5月23日 キャノンMJ「未来につなぐふるさとプロジェクト」企画

和白干潟クリーン作戦と自然観察に合わせてキャノンの企画が実施されました。4月には6名、5月には10名の参加があり、皆さん熱心に清掃していただきました。5月は小雨が降りそうな空模様で、清掃を早めに終えて潮干狩りを始めました。唐原川の右岸では小粒のアサリしか採れなかったため、左岸の方へ移りました。少し太めのアサリが見つかりました。心配した雨は降らず1時間弱の短い潮干狩りでしたが、1回分のお味噌汁ができたでしょうか?(河上)

### 6月7日(日)「ラブアースクリーンアップ2015」参加

雨の心配のない曇り空のクリーンアップでした。ラブアースが色々な地域の活動に取り入れられていることから、和白干潟への参加が心配されましたが、今年も福岡工業大付属城東高校が先生と生徒含めて77名、一般参加20名など、総勢102名の方に参加いただきました。9時から開会式、山本代表が実行委員会名誉会長の市長からのメッセージを代読、それからゴミ回収のルール説明をした後、燃えるゴミを集める班、プラスチックゴミを集める班に分かれて、唐原川河口から和白川河口までの清掃に入りました。回収したごみは70袋で、若者の力は大きく、1時間半ほどで干潟はきれいになりました。(山之内)



## 3月～6月の和白干潟の自然観察会 報告（今村 恵美子）

3月14日（土）NPO法人「ウォールレスジャパン」子ども36名と大人4名

NPO法人ウォールレスジャパンは、社会問題の壁をなくして孤独死防止と高齢者生活支援を行う団体で、子どもたちとボランティアの方たちが「海の生きもの観察会」として和白干潟を訪れました。干潟ではゴカイやコメツキガニ、浄化実験用のウミニナとアサリを探し、望遠鏡で干潟の鳥たちの観察もしました。アシ原に移動途中で鳥の足跡を紹介。アシ原付近のゴミ拾いもしました。まとめでは、バケツに集めたカニ、貝、アナジャコ、カミクラゲなど紹介。最後に浄化実験の結果も見てもらいました。天気もよく、干潟を楽しんでもらえてよかったです。（山之内）



6月12日（金）玄海風の子保育園かぼちゃ組 24名と先生3名



着いてすぐにミヤコドリとクロツラヘラサギを見てもらいました。山本さんが生きものの手袋で挨拶して、紙芝居を見せながら鳥や、カニ、和白干潟の話をしました。アシ原の入り口でアシハラガニを探り、干潟では元気良く沢山のコメツキガニを追っかけ、途中でアカエイが死んでいるのも見つけていました。唐原川の澇筋を越えたあたりで浄化実験用のアサリや、オキシジミを探りました。全員でゴミを拾いながら帰り、澇筋を渡るときにはズボンをめらした子、長靴に水が入った子もいました。透明になった浄化実験結果を見て、綺麗になったと子供たちから大歓声が上がりました。記念撮影をして、カモ笛を吹かせてもらって喜んでいました。（田辺）

6月17日（水）和白小学校4年生112名と先生5名

小学校から長靴を履いて30分歩いてきた子どもたちは元気よく挨拶し、干潟の話をととても真剣に聞いていました。鳥は少なかったのですが、バードウォッチングの途中でミヤコドリを見ることができ、幸運でした。アシ原では、子どもたちの目が輝き、「カニ、カニ」と大喜びでした。初めは貝の掘り方を教えてもらっていた子どもたちも、次第に自分で貝を見つけては先生が持っているバケツに入れていました。貝が多くとれて、貝の浄化実験は大成功でした。和白川河口のハクセンシオマネキの大群を望遠鏡で見ました。その名の通り、招いているように白いハサミを動かしている姿に子どもたちは感動していました。観察後、とった貝や海藻をみんなに見てもらいました。質問もたくさん出て、最後まで熱心な子どもたちでした。この観察会をきっかけに地元の和白干潟に関心を持ち、自然を守る心が育ってほしいと思いました。（有江）



## 山・川・海の流域会議「唐原川お掃除し隊」で流域清掃



5月30日（土）和白干潟を守る会を含む6団体でつくる「山・川・海の流域会議」主催で、第3回「唐原川お掃除し隊」を実施。予報より早く雨がぽつぽつ降り出しましたが、掃除には支障なさそうなので、決行しました。唐原西公園には総勢48名が集まりました。九産大から内田ゼミ、北山ゼミの先生と学生たちが胴長持参で参加。中には、HPを見て久留米から参加したという一般の学生もいました。香住丘自治会の胴長を初めて着用してがんばりました。

昨年は唐原川河口周辺の泥中に大きなゴミが埋まっていたので、今年は下流域を3班に分けて、清掃しました。はしごで川底に降りて、底に埋まっているゴミを岸まで引き上げてロープでひっかけて揚げましたが、パソコンやバッテリーなどは重すぎて大変でした。終わって沿岸を歩いてみると、なんとすっきりしたことでしょう！今回の参加者一人一人が、本当に一生懸命がんばった成果だと思いました。九産大の皆さんは実に頼もしく、環境を守ろうという若者がたくさんいて大変嬉しく思いました。ともにこの環境を守っていこうという思いが強まった取り組みでした。西日本新聞記者の取材もあり、和白干潟の四季を伝える連載記事の山・川・海編として掲載されました。回収したのは燃えないゴミ47袋、燃えるゴミ27袋でした。他に材木5本、タイヤ2本、ジュタン1枚、鉄パイプ277本、旗竿3本、自転車2台、バッテリー3個、ホイール、パソコンなどがありました。（今村）

## ハマヒルガオ (ヒルガオ科)

海岸の砂地に生える多年草。茎は砂中を長くのび、地表にも出てはい回り、適当なものに巻き付いてのびります。葉は円形。花はロータ型で淡紅色です。花期は5～6月。海の中道や玄界灘の三苦海岸、新宮海岸などでは大きな群落が見られます。和白干潟周辺では、海の広場から唐原川までのアシ原の中に、ちりばめられた宝石のように可憐なハマヒルガオが咲いています。5～6月頃には、ノイバラ、スイカズラ、ハマエンドウなどの花が次々に咲き、アシ原を散歩するのも楽しいものです。しかし梅雨の時期に雨が多く降り、アシ原はアシが人の背丈よりも高く伸びて、歩くのも一苦労するようになります。



ハマヒルガオ

## コメツキガニ (スナガニ科) 甲幅1cm。



コメツキガニ

砂質の和白干潟では一番多いカニです。砂浜や干潟の盛り上がった部分に多くすんでいます。砂泥を口に運び、有機物をこしとって食べた後を砂団子にしてまき散らしています。巣穴を掘った砂団子は大きく、食べた後の砂団子は小さくてまん丸です。干潟の汚れを食べる掃除屋さんですね。夏の晴れた日の干潮時には、きれいな砂団子があちこちに敷き詰められています。干潟の低い湿った場所では、たくさんの若いカニの放浪集団が見られます。2000年頃からは、環境悪化や業者の捕獲のために、コメツキガニは生息数を減らしてしまいましたが、2010年頃からは回復傾向にあります。近づくとザーと逃げ惑う多数の放浪集団のカニたちが見られるようになりました。これからも多くのコメツキガニがすむことができますように！ツメを上下に振る行動が、米を突いているように見えることから、「コメツキガニ」と名付けられたそうです。

## オオヨシキリ (ウグイス科) 全長18.5cm。

夏鳥として和白干潟周辺のアシ原に渡来して、巣を作ります。オスはアシやそのまわりの木の上で、大きな声で「ギョギョシ、ギョギョシ、ケケシ」と鳴き続けます。口の中が赤くて目立ちます。「ヨシに限って」巣をかけるので「ヨシキリ」と付いたのではないとも言われています。和白干潟周辺では、海の広場付近のアシ原、和白川河口のアシ原、五丁川河口のアシ原などで盛んにさえずっています。この元気な声を聞くと、夏が来たなあという感じがします。



オオヨシキリ

### ★夏の和白干潟のしぜん情報★

**アシ原：**アシは丈高く伸びて、一面アシのやぶになります。アシ原の中にハマナデシコやハマゴウの花が咲きます。牧の鼻の海岸にハマボウの黄色い花がたくさん咲きます。大群落地になるかもしれませんね。

**干 潟：**浅瀬ではマメコブシガニが散歩。干潟には足の踏み場も無いほどたくさんのコメツキガニの巣穴と砂団子。和白川河口ではハクセンシオマネキ。アシ原付近にはアシハラガニ。生きものたちがいっぱいです。

**水 鳥：**夏鳥として渡ってきたコチドリが繁殖しています。オオヨシキリはアシ原で大きな声で鳴いています。近年はコアジサシの姿が少ないですね。繁殖地の減少でしょうか？今夏も7月6日現在、ミヤコドリの若鳥が2羽残っています。越夏するかもしれませんね！



ハマゴウの花



2015年ラムサール登録地に  
日本から4カ所

6月1日～9日に南米ウルグアイで開かれたラムサール条約第13回締約国会議で、日本から「芳が平湿地群（群馬県）」「涸沼（ひぬま・茨城県）」「東よか干潟（佐賀県）」「肥前鹿島干潟（佐賀県）」の4カ所が登録されました。

これで日本国内のラムサール登録地は50カ所となりました。佐賀県から2カ所も選ばれたことは九州にとって喜ばしいことです。

特に「東よか干潟」は山本代表が講演、視察に行き、ラムサール条約登録地にふさわしい価値があると語った後から、佐賀市の気運が高まり短い期間で登録実現できたという経緯もあり、感慨深いものがあります。和白干潟も3年後のアラブ首長国連邦・ドバイで開かれる会議で登録が実現できるよう粘り強く働きかけます。



東よか干潟

中池見湿地の北陸新幹線ルートは  
一部変更となったが・・・

ラムサール登録地の福井県中池見湿地を横切る北陸新幹線計画に対して、沢山の反対の声が上がり、環境調査検討委員会で検討した結果、ルートの一部を変更することで5月に国交省から認可されました。しかし、根本的解決には程

遠く、今後湿地の生命線といえる地下水への影響が懸念されます。

このように、ラムサール登録地であっても開発計画が認可されるといふケースが悪い前例にならないよう注視していく必要があります。



新福岡空港ストップ連絡会総会で講演

5月31日（日）新福岡空港ストップ連絡会（玄界灘相島沖に福岡空港新設計画が持ち上がった折に環境・必要性の問題などから中止を求めて結成された市民団体）総会において、和白干潟を守る会山本代表が「和白干潟のラムサール条約登録をめざして（和白干潟の自然と環境保全活動）」の特別講演を行いました。ストップ連絡会は毎年開催する和白干潟まつりに参加し、展示などで空港問題を市民にアピールしてきました。無駄な公共事業で海の環境を損なわないでほしいという願いは共通です。講演では、和白干潟の価値と、市民の環境保全活動、環境教育、ラムサール条約登録に向けた署名運動などを、山本代表が熱意を込めて語りました。きりえ作品の展示なども行い、互いに連携していくことを再確認しました。



和白干潟を守る会へのご支援ありがとうございます！大切にさせていただきます！  
★5/22 「キャノンマーケティングジャパンKK.」 助成金をいただきました。

気が付いたらあなたも電話してください！

- ▼海辺のゴミやアオサをとってほしい時・自分でゴミを拾った時  
092-282-7146（港湾局維持課）
- ▼沖のアオサをとってほしい時  
092-282-7153（港湾局環境対策課）



弱った野鳥を見つけた時 → 092-513-5611  
092-643-3367

＊ ＊ お 願 い ＊ ＊

- 干潟でのゴルフやラジコンの練習はやめましょう！とても危険です。
- 干潟や堤防での火の取扱いはやめましょう！（ダイオキシン発生防止、ゴミの野焼き禁止、バーベキューや花火禁止）
- 犬のフンの始末は飼い主がしましょう！

福岡県筑紫保健福祉環境事務所（地域環境課）  
福岡県環境部自然環境課野生生物係

## 2015年3月

- 3/3 (火) 和白干潟通信114号編集会議
- 3/7 (土) 山・川・海の流域会議(総会)参加
- 3/8 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会)
- 3/12 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 3/14 (土) NPOウオ ルレスジャパンの和白干潟観察会
- 3/28 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察  
2015年日本湿地ネットワーク(JAWAN)  
総会&交流会
- 3/29 (日) 和白干潟通信114号編集会議

## 2015年4月

- 4/2 (木) 2015年春期シギ・チドリ調査1回目(博多湾東部)  
統一地方選挙候補者への公開質問の回答をHPに掲載
- 4/5 (日) 2015年春期シギ・チドリ調査1回目(今津)
- 4/9 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 4/10 (金) イオン黄色いレシートキャンペーン/贈呈式
- 4/11 (土) イオン黄色いレシートキャンペーン
- 4/12 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会)
- 4/14 (火) 和白干潟通信114号発送会
- 4/18 (土) 春期シギ・チドリ調査2回目(今津)
- 4/21 (火) 観察会グループ会議  
春期シギ・チドリ調査2回目(博多湾東部)
- 4/25 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 4/28 (火) 春の和白干潟の自然さがし

## 2014年5月

- 5/9 (土) 山・川・海の流域会議定例会議参加  
春期シギ・チドリ調査3回目(今津)
- 5/10 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会)
- 5/11 (月) イオン黄色いレシートキャンペーン
- 5/14 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 5/19 (火) 観察会案内状発送会  
春期シギ・チドリ調査3回目(博多湾東部)  
和白干潟のRKB鉄塔工事説明会
- 5/22 (金) あすみん「学生ボランティアミーティング」参加(西南学院大学)
- 5/23 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 5/30 (土) 「唐原川お掃除し隊」参加(山・川・海の流域会議)
- 5/31 (日) 新福岡空港ストップ連絡会総会にて講演「和白干潟をラムサール登録地に！」



ハマナデシコ

## 干潟のつばやき 「鳥たちの休息場があってよかったね！」

春になると越冬していた鳥たちは北へ旅立ち、南方から渡り鳥たちが和白干潟にやってきます。和白干潟では満潮時に水没しない岩場がないので、この渡り鳥たちはアシ原前の砂州や雁の巣の護岸の石垣などで休息していることが多いのです。1年ほど前、この雁の巣の護岸改修工事が行われ、石垣が新しくなりました。5月のある日、満潮時にアシ原前の砂州を見ると砂州にはサギたちしかいませんでした。雁の巣に行き護岸の石垣を眺めて見ましたが、鳥たちはいませんでした。やはり護岸が新しくなって鳥たちが近づかなくなったのかと思ったその時、目の前の栈橋を良く見てみると栈橋中程のコンクリート上に20羽ほどのホウロクシギとオバシギの群れを発見。鳥たちはコンクリート上に寝そべっているのもいます。こんな所で休んでいたんですね。古びて壊れかけた栈橋、このような所も鳥たちには大事なんだなと思いました。(山之内 芳晴)



オバシギ



## イオン黄色いレシートキャンペーン報告

イオンでは、毎月11日を「イオンデー」として黄色いレシートが発行されます。そのレシートを自分が応援したいボランティア団体の「投函ボックス」に入れると、その団体にレシート金額の1%相当の品物が寄贈されます。和白干潟を守る会は、2008年3月からイオン香椎浜店に登録し、毎月11日には、有志数名が守る会のブルゾンを着込んでレジ前に立ち、守る会へのレシート投函をお願いします。レシート投函お願い活動がなければレシートは少ししか集まりませんので、この活動は欠かせません。4月10日には、イオン香椎浜店1階の特設会場で、2014年度のキャンペーン贈呈式が行われ、店長から各団体の代表者にギフトカードが渡され、守る会は山本代表がギフトカードの贈呈を受けました。贈呈式の中での団体アピールでは、山本代表と田辺さんが、紙芝居で和白干潟の紹介をしました。和白干潟を守る会は、イオン香椎浜店に登録していますが、黄色いレシートは全国どこの店舗が発行したものでも区別はありません。黄色いレシートがあれば、守る会に送っていただくと助かります! (山之内)



## 2015年度日本湿地ネットワーク総会・交流会報告



3月28日(土)2015年度日本湿地ネットワーク総会・交流会が東京都港区の港勤労福祉会館で行われ、守る会からは、東京在住の田中さんと中野さんが出席しました。

2014年度の活動報告・決算、2015年度の活動方針・予算・役員が審議され、すべて原案通り承認されました。2015年度は「JAWANの存在意義を示す活動を活発に」を重視することになりました。総会に引き続き、交流会が開かれ、各地から報告が行われました。和白干潟については、観察会やクリーン作戦の活動は近年参加者が増えてきていること、ラムサール登録をめざして署名運動を進めていること、それにもかかわらず行政の動きはにぶく、今後は議会への働きかけを進めようとしていること、また最近海底湧水が発見されたこと、などを報告しました。それぞれ10分以内という制約があったにもかかわらず、交流会での各地の報告はどれも興味深く、JAWANの存在意義を感じさせるものでした。(田中浩朗)

## 統一地方選挙で公開アンケートを実施

4月に行われた統一地方選挙で、県知事候補者、福岡市東区の県議会議員候補者や市議会議員候補者など24名に対して和白干潟保全についての公開アンケートを行いました。質問は、和白干潟を知っているか 和白干潟に来たことはあるか 和白干潟の重要性を知っているか ラムサール条約について知っているか 和白干潟がラムサール登録地にふさわしいか ラムサール登録に向け、市としてどのような取り組みが必要かなどで、9名から回答があり、ホームページに掲載しました。和白干潟のラムサール登録に肯定的だったのは5名でした。(山之内)

## 守る会問い合わせ窓口 ホームページ: <http://wajirohigata.sakura.ne.jp/>

入会 / 観察会 (申込等) ..	山之内 芳晴	Tel/Fax. 092-944-1543
クリーン作戦 .....	田辺 スミ子	Tel. 090-1346-0460
会費 .....	田中 貞子	Tel/Fax. 092-606-5588
広報 / 調査 / 定例会議 .....	山本 廣子	Tel/Fax. 092-606-0012
干潟まつり .....	今村 恵美子	Tel/Fax. 092-942-5282



【編集】 田辺 スミ子・今村 恵美子・高田 将文・山本 廣子・山之内 芳晴  
《カット》くすだ ひろこ 次号は2015年10月に発行予定

【編集後記】 和白干潟の水質調査は今までは海の広場沖合いを調査していましたが、今年度からは、それに加えて、唐原川と和白川も行うことにしました。5月末、唐原川と和白川の水質調査を実施しました。思ったよりきれいで、どちらもCODは5でした。(山之内芳晴)



## お知らせコーナー

### 和白干潟の生きものやハマボウを見る会

今夏もハマボウや干潟の生きものに会いにきませんか！

日時：7月26日(日) 10:00～12:00

集合：和白干潟 海の広場

講師：藤井暁彦氏(九州環境管理協会)

持ち物：飲料、軍手、筆記具

服装：帽子、長そで、長ズボン、長靴(サンダル不可)

主催：和白干潟保全のつどい(守る会など4団体)

問い合わせ：TEL/FAX092-944-1543(山之内)



### 和白干潟のエコチャレンジ “アオサのお掃除大作戦”

日時：8/29(土)、9/12(土)、

10/10(土)

いずれも14:00～16:00

集合：和白干潟・海の広場

主催：和白干潟保全のつどい

問い合わせ：Tel/Fax.

092-944-1543(山之内)

### 国際ビーチクリーンアップ参加

ゴミデータ調査をします！世界一斉に実施される環境保護キャンペーン。海岸のゴミを調べます。ぜひご参加ください！

日時：9月26日(土) 15:00～17:00

集合 和白干潟・海の広場

問い合わせ 090-1346-0460(田辺)

### キヤノン 未来につなぐふるさとプロジェクト 「クリック募金」実施中！ 2/2より12/11まで

守る会のホームページかキヤノンのHPから

<http://cweb.canon.jp/csr/donation/index.html>

ぜひ「福岡県」の「和白干潟を守る会」に毎日1クリックをお願いします！1円が守る会に寄付されます。

## 定例スケジュール

### 定例会議(7/25、8/22、9/26)

毎月第4土曜日10時半～13時 守る会事務所にて開催

以下は参加自由です。仲間が待っています！

### クリーン作戦と自然観察(7/25、8/22、9/26)

毎月第4土曜日15時～17時 和白干潟・海の広場集合

長靴があると便利 駐車場なし

### 和白海岸探鳥会(8/9、9/13、10/11)

毎月第2日曜日 9時～12時 JR和白駅前和白公園集合

主催：日本野鳥の会福岡支部 参加費：一般は300円、中学生以下は無料 駐車場なし

会員募集中！

年会費 個人 2,000円

団体 5,000円

カンパの協力お願い

郵便振替 01720-4-23860

和白干潟を守る会

ボランティアへのお誘い

和白干潟を守る会のボランティア活動に参加して、新たな自分を見つけませんか？あなたの経験や知識や技術が、きっと活かされますよ！

## 和白干潟の鳥たち(その71)

シロチドリ(チドリ目チドリ科 Kentish Plover) 白千鳥 [全長約17cm]

日本では普通に見られていたシロチドリは、近年個体数の減少が著しく、環境省のレッドリストでは**絶滅危惧Ⅱ類(VU)**に指定されています。ヨーロッパでも同じく減少傾向にあります。原因は開発による生息地の砂浜の減少や汚染、人為的な踏みつけ、哺乳類や鳥類などによる卵や雛の捕食などがあると言われています。和白干潟では年間を通して見られる留鳥ですが、冬に観察数が多いです。夏には海の中道の外海側の砂浜で、コアジサシに混じって繁殖しているのを見ることがありますが、観察例は少なく、和白干潟でも絶滅が心配される鳥です。動作は遅くて、手のひらに乗りそうなどともかわいい鳥です。

(山本 廣子)



(写真撮影：三宅 僚)